



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 18 (文責 永杉尚久)

みなさん よいお年を！

2022年もあと1週間ほどになりました。振り返ってみるとあっという間に過ぎ去ったように思います。また、今年起こった出来事もずいぶん昔のことのように思われます。

今年の漢字に、「戦」が選ばれました。ロシアのウクライナ侵攻がまだなお続き、世界に暗い影を落としています。戦争が止むことを心から願っています。

ところで、南関中のスローガンにも「挑戦」の文字があります。こちらは、「自分の前にある壁を打ち破る」「挫けそうになる自分に打ち勝つ」などの自分を高めていく明るい意味合いがあります。

世の中の「戦い」が、後者で満ちあふれることを望みます。来年、よいお年をお迎えください。

2年生修学旅行

「成長を感じました。」

12月18日～20日の2泊3日の旅を大阪・京都・奈良方面で行いました。とても寒い3日間でしたが、天候には恵まれ順調に行程を終えることができました。全員無事に帰って来られたことが何よりです。この修学旅行は、思い出づくり・絆を深めることと、南関中のリーダーとして自覚を高めることをテーマに臨みました。途中で戸惑ったり、うっかりしたことなどで指導を受ける場面もありましたが、日に日に改善しました。

解団式の時に、2年生一人一人の顔に満足感と自覚を示す引き締まった表情を確認することができました。帰りの新幹線の中で「まだ帰りたくない。」という生徒たちの声に、修学旅行の充実を感じました。実施できて本当によかったです。



清水寺にて自由行動



奈良東大寺「大きさに圧倒」

今日の論語

子曰く、「吾 十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲するところに従いて、矩をこえず。」と。

先生は言われた、「私は十五歳で学問に志し、三十歳で思想も見識も確立した。四十歳で心の迷いもなくなり、五十歳で天から与えられた使命を自覚した。六十歳で、何を聞いても耳にさからうことがなくなり、七十歳になると、自分の思うままに振る舞っても、その行動が人に道から外れることはなかった。」と。 ※自分は年相応に成長しているか疑問です。

新しい生徒会へ「引継式」

12月23日に生徒会役員の新引継式を行いました。令和4年の役員のみならず、南関中を盛り上げるために、率先して活動してくれました。苦労や悩みはたくさんあったと思いますが、生徒のみんなが楽しく、笑顔で過ごせる場所づくりに貢献してくれたことに感謝します。本当にご苦労さまでした。役員を経験して、自分の成長を実感してくれたことに大きな喜びを感じます。

さて、1月からは新しい役員メンバーでの生徒会がスタートします。これまでの、先輩たちの伝統を引き継ぎ、さらに自分たちの持ち味を加えて、南関中がより一層アクティブになることを期待します。

【新執行部メンバー】

会長 後藤煌稀 副会長 舛永 葵 牧島颯花
会計書記 高木悠人 横枕一華